

第1回 大井川水系流域委員会
【大井川総合水系環境整備事業の再評価】
説明資料

令和3年10月1日
国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目 次

1. 流域の概要	1
2. 事業の目的及び概要	2
3. 計画内容と事業の投資効果	5
4. 評価の視点	
(1) 事業の必要性等に関する視点	
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	8
2) 事業の進捗状況	9
(2) 費用対効果分析	10
(3) 事業の進捗の見込みの視点	13
(4) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	13
5. 県への意見聴取結果	14
6. 対応方針（原案）	14

1. 流域の概要

【流域の概要】

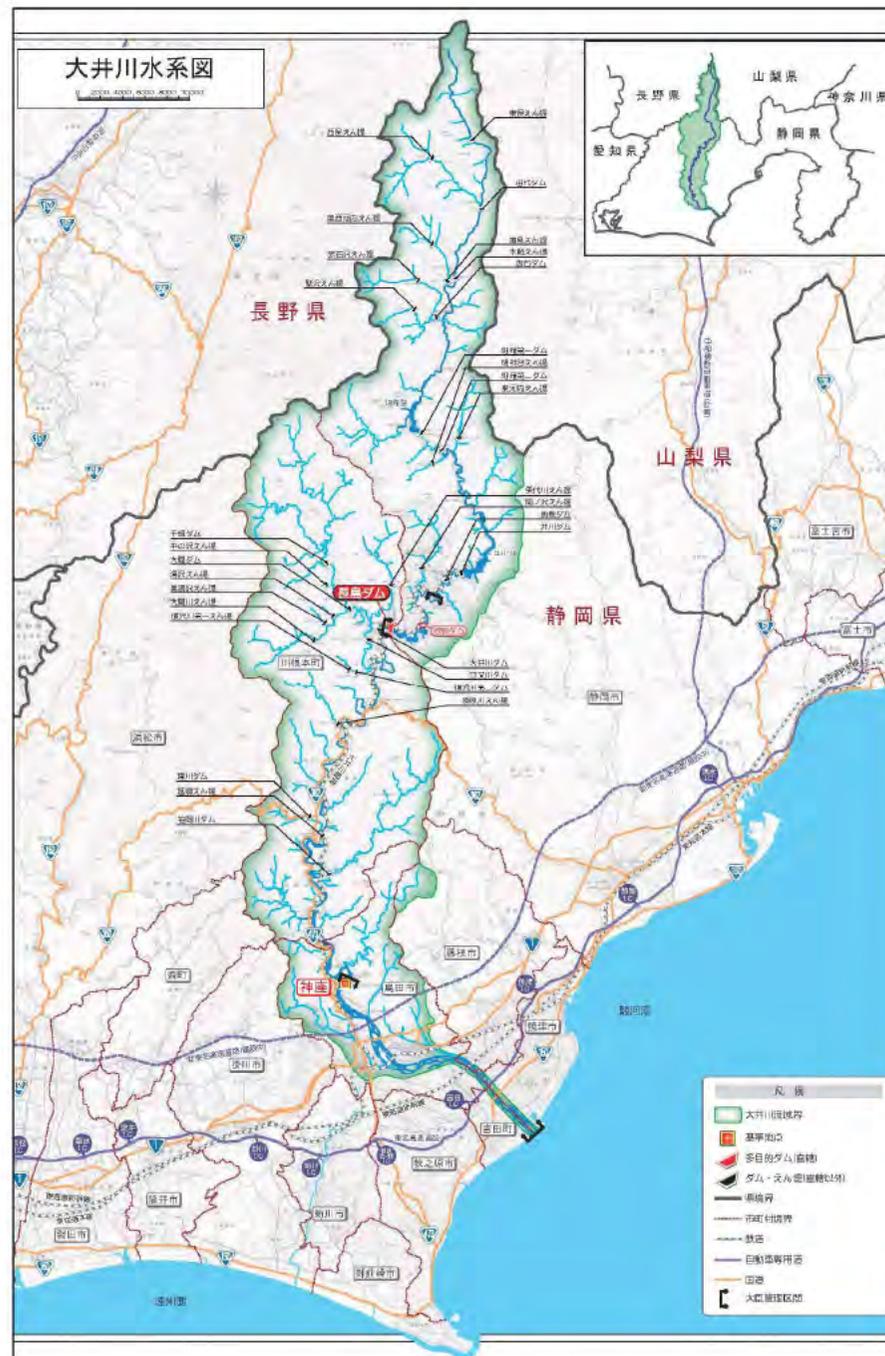
■大井川は、静岡県の中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳（標高3,189m）に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け、その後、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km²の一級河川である。

■源流から大井川ダム付近までの上流域は、南アルプス国立公園等に指定される豊かな自然環境を有し、大井川ダム付近から扇頂部付近までの中流部は、瀬や淵にアユ等の魚類や、河畔林が繁茂する砂礫河原にはキセキレイ等の鳥類が生息する。扇頂部付近から河口までの下流部は、複列砂州や網状の流路に砂礫河原が形成され、砂州や中州に河畔林が繁茂している。河口部は、アユをはじめ回遊性魚類の遡上経路となっており、希少な魚類も生息する。

■河川空間では、高水敷に緑地・スポーツ広場等が広く整備されており、地域住民等による利用も盛んである。

【大井川流域の諸元】

- 流域面積 : 1,280km²
- 幹川流路延長 : 168km
- 大臣管理区間 : 24.8km
- 流域内市町村 : 4市2町
(静岡市・島田市・藤枝市・焼津市・吉田町・川根本町)
- 流域内人口 : 約9万人
- 年平均降水量 : 約2,400~3,000mm (上中流部)
約2,000mm (下流部)



流域概要図

・今回の評価では、継続事業における右岸側整備の追加及び事業期間の延長に関する再評価を実施する。

分類	事業名			前回評価からの変更点
継続	水辺整備	宝来地区水辺整備事業	高水敷整正 坂路 階段 緩傾斜堤防 親水護岸 管理用通路 番小屋・物販所・休憩場所・トイレ整備(島田市) 駐車場(島田市) 案内板・サイン(島田市) 高水敷・散策路整備(島田市) 広場(張芝)(島田市) 遊歩道(島田市) 小径整備(島田市) 碑の移設等(島田市)	■事業期間の延長 <ul style="list-style-type: none"> ・右岸側整備の追加 ・施工期間の延長 ・モニタリング期間の追加

(これまでの経緯と今回の評価等について)

年度	事業評価	大井川総合水系環境整備事業	
		宝来地区水辺整備事業	
H27		左岸側整備	
H28	新規事業採択時評価	新規事業採択時評価	
H29		設計・工事	
H30		↓	
R1			右岸側整備
R2			(今回追加・延伸)
R3	再評価	今回評価 (再評価)	
R4		モニタリング	設計・工事
R5		↓	↓
R6			
R7			
R8		再評価	再評価
R9			モニタリング
R10			↓
R11			
R12			
R13		完了箇所評価	

3. 計画内容と事業の投資効果

整備の必要性

＜背景＞大井川に架かる蓬莱橋（世界最長の木造歩道橋）は観光名所として多くの観光客が訪れているが、観光客の受け入れ環境が不十分で、地域の活性化につながっていなかった。また、地域の憩いの場ともなっていたが、既存施設の老朽化が進み、改善が求められていた。

＜課題＞

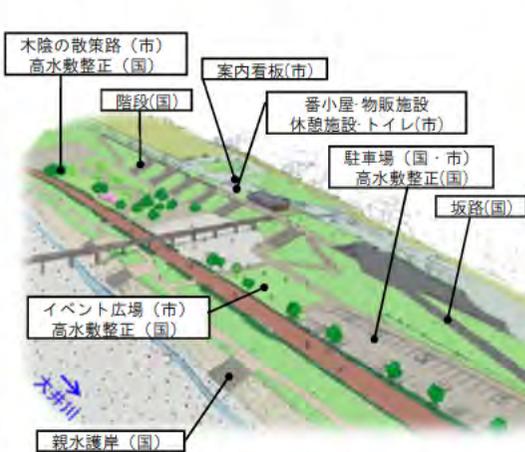
- ・ 利便施設の不足により一時的な立寄り場所・通過地点となっている
- ・ イベント等で活用するためのオープンスペースが不足
- ・ 河川敷へ降りる階段やスロープの傾斜が急であり、安全性の向上が必要 など

＜対策＞宝来地区「かわまちづくり計画」※との整合を図り、歴史的景観の保全と調和に十分配慮するとともに、民間事業者等との連携、蓬莱橋周辺と一体となった水辺整備により賑わいのある水辺空間の創出を行う。

※河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組みのための計画で、自治体等と河川管理者（国土交通省）が連携してハード・ソフト施策を検討・実施している。

整備内容

- ・ 蓬莱橋を拠点とした河川空間の魅力が向上し、より多くの人ができるように、左岸（島田駅側）では休憩施設の整備、番小屋のリニューアル、木陰の散策路等の整備を、右岸（牧之原台地側）では橋詰めから高水敷に降りるための坂路や小径、河川敷のオープンスペース等の整備を行う。



左岸(島田駅側)の整備内容
(かわまちづくり計画)



右岸(牧之原台地側)の整備内容
(かわまちづくり計画)

整備前



整備後



3. 計画内容と事業の投資効果

事業の投資効果

- 魅力や拠点性が向上した蓬莱橋と大井川沿いに存在するまちなかの観光拠点等を連携することにより、来訪者を地域全体でおもてなしし、島田市の活性化に貢献する。
- 蓬莱橋の左岸側（島田駅側）では、休憩・物販施設（蓬莱橋897.4（やくなし）茶屋）を併設した番小屋のリニューアル、坂路、駐車場、親水護岸等の整備が終了し、既に多くの人に利用されている。

拠点の連携イメージ



大井川を軸とした拠点ネットワーク

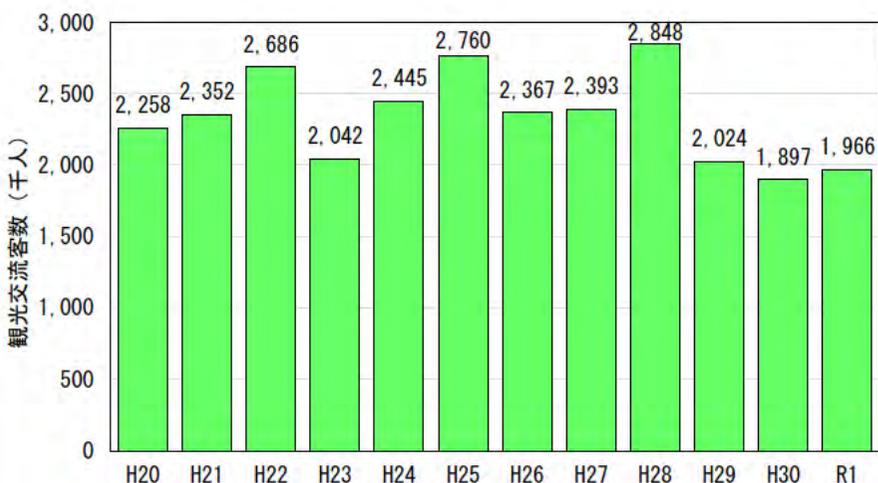
利用状況



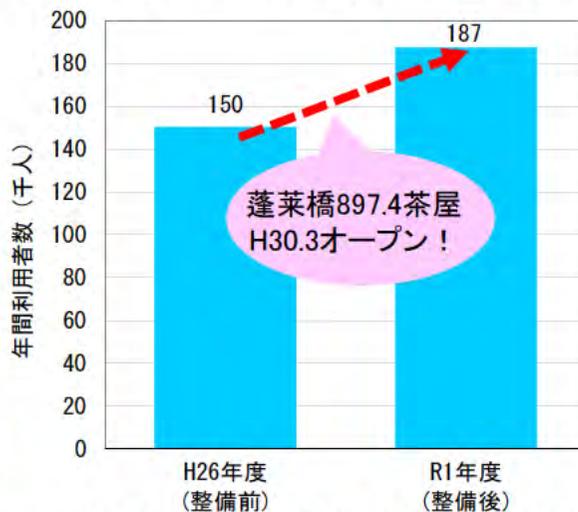
整備箇所の利用状況（水辺で乾杯in蓬莱橋）



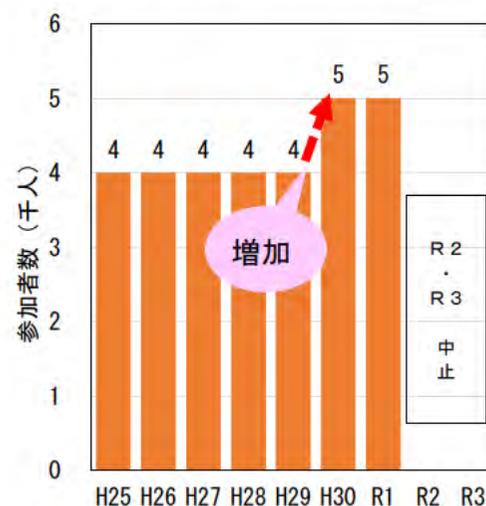
蓬莱橋の利用状況（蓬莱橋ぼんぼり祭り）



島田市観光交流客数
出典：静岡県観光交流の動向



蓬莱橋897.4茶屋周辺の年間利用者数
※利用実態調査より推定



蓬莱橋ぼんぼり祭り参加者数

3. 計画内容と事業の投資効果

全体事業費・事業期間の見直し

整備の目標

- ・観光名所である蓬莱橋を活用した島田市のまちづくりと一体的に、歴史や景観に配慮しながら「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」を創出する。

事業の成果と課題

【成果】

- ・蓬莱橋の左岸側（島田駅側）では休憩・物販施設、坂路等の整備が終了し、整備前と比較して利用者数が増加。
- ・コロナ禍の影響を受けつつも、蓬莱橋897.4茶屋の来客数は安定。

【課題】

- ・整備が進められている左岸側（島田駅側）では観光客等の利用でにぎわっているが、蓬莱橋を渡った先である右岸側（牧之原台地側）は水辺に親しめる施設等が少ない。

全体事業費・事業期間の変更

下記の理由から、事業期間を2年延長し、事業完了を2026年度（令和8年度）から2028年度（令和10年度）に変更する。

- ・右岸地区（牧之原台地側）のかわまちづくり計画が策定されたため、右岸地区の整備が追加となり、全体事業費が約3.3億円増額となった。（全体事業費：前回 約7.0億円⇒今回 約10.3億円）
- ・右岸地区（牧之原台地側）での賑わい創出に向けた整備を追加することから事業期間を令和8年度から令和10年度まで延伸して、左右岸一体となって事業効果を発現させる。

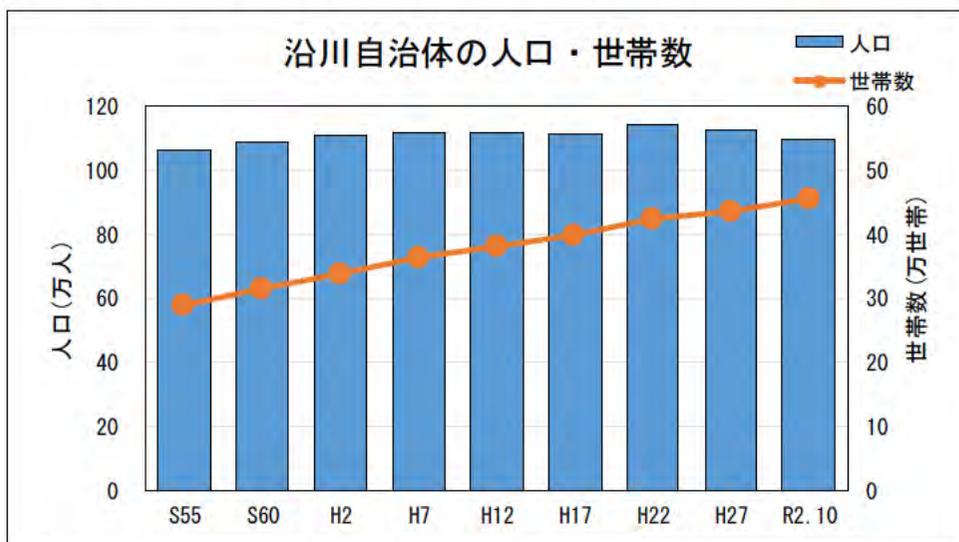
年度	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
変更前	→											
変更後	→											

4. 評価の視点

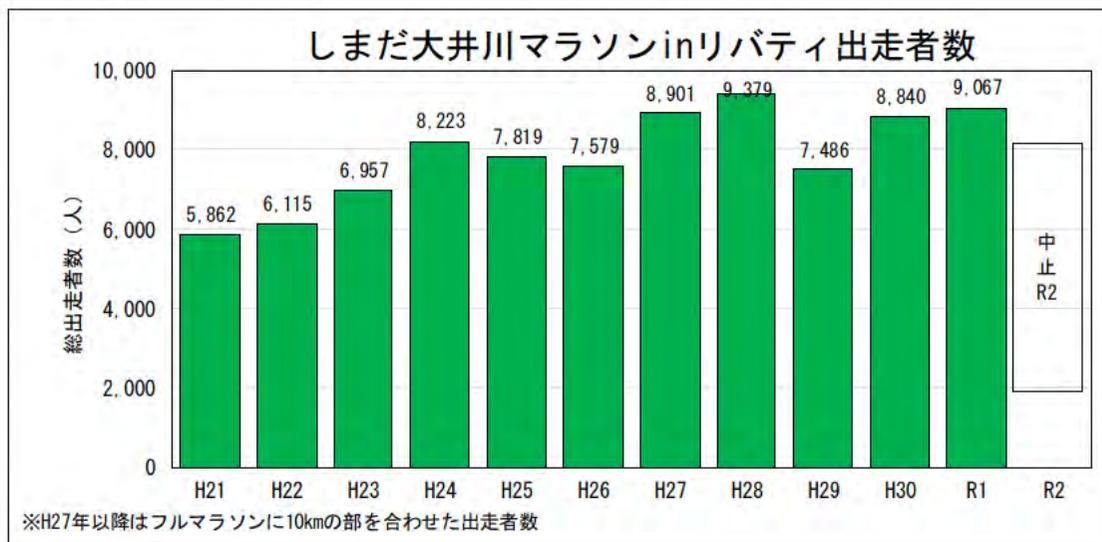
(1) 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・大井川沿川自治体の人口及び世帯数は、R2年10月時点で約110万人、約46万世帯であり、人口は近年若干の減少傾向であるが、世帯数は増加傾向にある。
- ・大井川では各種イベントが行われており、大井川の河川敷を走る「しまだ大井川マラソンinリバティ」では9千人を超える出走がある。また、H31・R1年の河川利用者は年間推計133.2万人程度である。

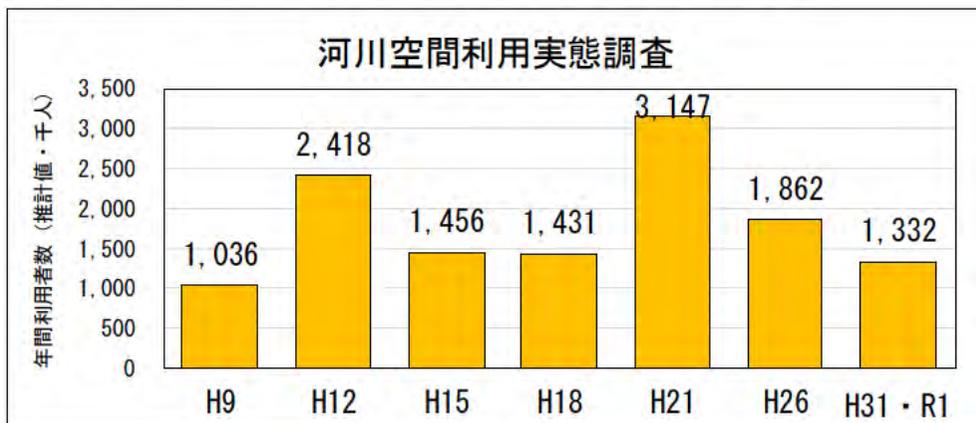


出典：S55～H27国勢調査結果 R2.10静岡県人口推計(R2.10時点)
沿川自治体：静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・吉田町・川根本町



出典：島田市提供資料

▽河川利用に関する住民の関心の高まり



しまだ大井川マラソンinリバティ

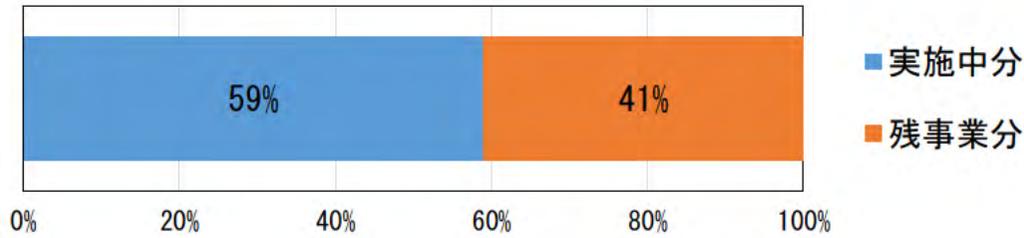


着物de蓬萊橋(イベント)

2) 事業の進捗状況

宝来地区水辺整備事業【継続】

進捗率は令和3年度末事業費ベースで約59%であり、
今後は主に右岸側の整備等を実施していく。



全体事業費：1,025百万円
実施済み：604百万円
残事業費：421百万円
(税込)



(2)費用対効果分析①

事業全体に要する総費用(C)は12億円、総便益(B)は79億円、費用対便益比(B/C)は6.7となる。

事項		大井川総合水系環境整備事業	備考
事業諸元		水辺整備 宝来地区水辺整備【継続】	
計算条件	評価時点	令和3年度	
	整備期間	平成29～令和10年度	
	評価対象期間	整備期間+50年間	
	受益範囲	事業個所周辺10km圏 世帯数：110,131世帯	
	年便益算定手法	CVM（郵送アンケート+Web） 回答数：994票 有効回答数：460票	
	支払意思額（WTP） （円/世帯・月）	290円/世帯/月	
B/C算出	総便益（B）	79億円	※1
	年便益	3.8億円/年	※2
	便益	79億円	※1
	残存価値	6.6百万円	※1
	総費用（C）	12億円	※1
	事業費	10億円	※1
	維持管理費	2億円	※1※3
	B/C（箇所別）	6.7（9.5）	※4※5
	B/C（事業種別）	6.7（9.5）	※4※5
	B/C（水系）	6.7（9.5）	※4※5
残事業B/C（水系）	6.1（9.5）	※4※5	

※1：割引率4%で現在価値化

※2：WTP×世帯数×12ヶ月

※3：必要額の積上げ

※4：総便益(便益+残存価値)／総費用(事業費+維持管理費)

※5：()書きは前回評価時

事項			大井川総合水系環境整備事業
事業名			水辺整備
			宝来地区水辺整備事業
箇所別B/C	全体事業 (B/C)	残事業費 (+10%～-10%)	6.5～6.9
		受益世帯数 (-10%～+10%)	6.0～7.4
		残工期 (+10%～-10%)	6.7～6.7
全体B/C	全体事業 (B/C)	残事業費 (+10%～-10%)	6.5～6.9
		受益世帯数 (-10%～+10%)	6.0～7.4
		残工期 (+10%～-10%)	6.7～6.7
	残事業 (B/C)	残事業費 (+10%～-10%)	5.7～6.6
		受益世帯数 (-10%～+10%)	5.5～6.7
		残工期 (+10%～-10%)	6.0～6.3

(2)費用対効果分析③

(前回評価との比較)

事項		大井川総合水系環境整備事業		備考
年度		前回評価 (H28年度)	今回評価 (R3年度)	
事業諸元		(1箇所) 宝来地区水辺整備【整備予定】	(1箇所) 宝来地区水辺整備【継続】	
計算条件	評価時点	平成28年度	令和3年度	
	整備期間	平成29～令和8年度	平成29～令和10年度	
	評価対象期間	整備期間+50年間	整備期間+50年間	
	受益範囲	事業個所周辺10km圏 世帯数：121,507世帯	事業個所周辺10km圏 世帯数：110,131世帯	
	年便益算定手法	CVM（郵送アンケート） 回答数：742票 有効回答数：459票	CVM（郵送アンケート+Web） 回答数：994票 有効回答数：460票	
	支払意思額（WTP） （円/世帯・月）	307円/世帯・月	290円/世帯・月	
B/C算出	総便益（B）	65億円	79億円	※1
	年便益	4.5億円/年	3.8億円/年	※2
	便益	65億円/年	79億円/年	※1
	残存価値	3.5百万円	6.6百万円	※1
	総費用（C）	7億円	12億円	※1
	事業費	6億円	10億円	※1
	維持管理費	1億円	2億円	※1※3
B/C	9.5	6.7	※4	

※1：割引率4%で現在価値化

※2：WTP×世帯数×12ヶ月

※3：必要額の積上げ

※4：総便益（便益+残存価値）/総費用（事業費+維持管理費）12-

(3)事業の進捗の見込みの視点

- 宝来地区水辺整備は、「大井川かわまちづくり」に基づき、まちと水辺が一体となった魅力ある空間作りの検討を進めている。また、島田市大井川ミズベリング協議会等を実施し、地域の意見を取り入れながら、利活用の提案・検討を進めている。



R1.11撮影



R3.7撮影



R1.5撮影



R1.10撮影

島田市大井川ミズベリング協議会の様子

蓬萊橋で実施されているイベント

(出典: 右, しまだ大井川マラソンinリパティHP)

(4)コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 今後予定する右岸側の整備では、既存の小径を活用して簡易階段に改良・整備したり、基盤整備の際に周辺の土砂を活用するなどして、コスト縮減を図っていく。



既存の小径

- 対応方針（原案）のとおり、大井川総合水系環境整備事業の宝来地区に右岸側の水辺整備を追加し、事業を継続することについて、異存ありません。
蓬萊橋を中心とした拠点整備により、大井川の魅力が向上し、島田市が目指す周辺地域を含めた流域の活性化につながるよう、今後も引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、事業の推進をお願いします。
また、各年度の事業実施に当たっては、引き続き本県や関係者と十分な調整をお願いします。

- 大井川らしい地域住民の河川利用に関する需要が見込まれ事業の必要性は高いことから、大井川総合水系環境整備事業を継続する。